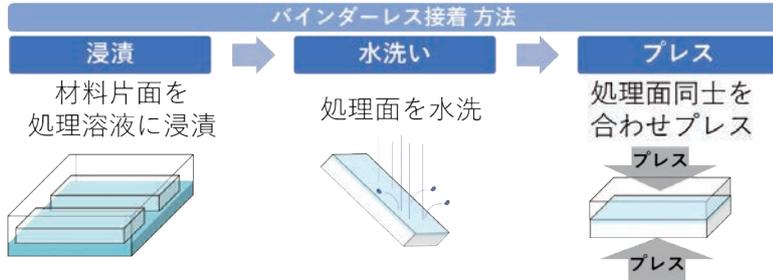


木材のバインダーレス接着技術

～漂白剤を使用して木材を接着させる接着剤不要の新技术～

アピールポイント

漂白剤への漬け置きとプレスという簡易な操作で、接着剤を一切使用せずに木材を接着する技術です。



- ・漂白剤に木材を漬け置き、水洗い後、乾燥するまで処理面同士をプレスすることで接着されます。
- ・同樹種の接着に加え、ミズナラとカラマツ等の異樹種の接着も可能です。
- ・水洗い後すぐにプレスを行わず保管した場合も、プレス前に含水させることで接着が可能です。



接着試験体(トドマツ)

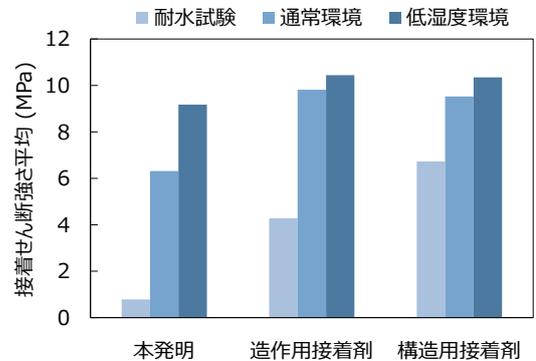


接着試験体(ミズナラとカラマツ)

発明の特長

従来から合成接着剤を用いない木材の接着技術は提案されてきましたが、特殊な装置や高価な薬品が必要、元の木材の物性や風合いが維持できない、または十分な接着強度が得られない等といった課題がありました。

本技術では、漂白剤により処理することで、木材の元々の物性や風合いを維持しながら、接着剤なしで木材同士を強く接着することができます。低湿度環境ほど強固な接着強さが得られるため、水がかりのない用途が適しています。



通常環境：20°C65%RH環境下、低湿度環境：20°C9%RH環境下
耐水試験：JISK6852に準拠

活用に向けて

- ・石油由来の接着剤を使用しないことで脱化石資源に貢献できます。
- ・浸漬・水洗い工程とプレス工程を分けることができるため、製造工程の柔軟性が上がります。

基本情報

発明の名称	木材の接着方法、接合品及び接着可能な木材		
出願者	銘建工業(株)、道総研		
特許出願番号	特願2023-049988		
出願日	令和5年3月27日	登録日	
実施許諾実績	■有り □無し	発明場	森林研究本部 林産試験場

キーワード: 木材接着、バインダーレス接着、接着剤不使用

本技術は、実施いただく際の範囲に条件があります。詳細は裏表紙記載の連絡先までお問い合わせください。